

EJIB 搭載クレーン



登録

㈱加藤製作所（取締役社長 加藤公康）では、EJIB 搭載クレーンを平成26年2月4日より国土交通省新技術情報提供システム NETIS に登録致しました。

EJIB はジブ装着格納作業の一部を車内操作化し、ジブ起伏シリンダの伸縮動作をジブ振出などに利用することで、作業の省力化や時間短縮、省スペース化など様々な利点を生み出すことが可能になりました。ジブ装着作業におけるオペレータの労力軽減、安全性の向上、CO₂排出量の低減など人にも環境にも優しいジブです。

◆ジブ装着格納作業が簡単

車外で行っていたジブ装着格納作業の一部が運転席で操作可能になりました。車外作業の削減とともに移動距離と昇降量も低減し、オペレータの労力が軽減します。

運転席乗降回数（車外作業回数）	……………	2回（6回減）
オペレータ移動距離	……………	68%低減
オペレータ昇降量	……………	75%低減

◆ジブ装着格納時間が短縮

ジブ装着格納が短時間で迅速に行え、工程の短縮に役立ちます。

ジブ装着時間	……………	約10分（約8分短縮）
--------	-------	-------------

◆CO₂排出量が低減

ジブ装着格納作業時のエンジン稼働時間が短縮され、CO₂排出量が低減されます。

CO ₂ 排出量	……………	66%低減
---------------------	-------	-------

◆省スペース

ジブ装着格納の作業スペースが大幅に小さくなり、狭い現場での作業性が飛躍的に向上します。

ジブ装着格納作業スペース（ブーム前方スペース）	……………	10.6m 削減
-------------------------	-------	----------

◆安全性が向上

安全帯の着用が必要な足場高さ2m以上の高所作業が無くなり、全作業がキャリヤ上面と地上付近で行えます。

最高作業高さ	……………	1.5m（1.1m減）
--------	-------	-------------

※上記数値は、SR-250R EJIB と従来機のジブ装着格納作業を比較したものです。数値は機種により多少異なります。

NETIS 登録情報

NETIS 登録番号…………… KT-130078-A
技術名称…………… EJIB 搭載クレーン

NETIS とは

民間企業により開発された新技術を公共工事において積極的に活用していくために、国土交通省が、新技術に関する情報の共有及び提供を目的として整備した、新技術情報システム(New Technology Information System : NETIS)のことで、インターネットで一般に公開され、有効な新技術の情報を誰でも容易に入手することが可能となっています。

今後ますます活用が見込まれるシステム、NETIS について、詳しくは国土交通省 NETIS ウェブサイト (<http://netis.mlit.go.jp>)をご覧ください。

NETIS 登録技術活用のメリット

国土交通省直轄の公共工事で、NETIS に登録された新技術の活用を提案すると、施工者に加点対象となるメリットがあります。

◆総合評価落札方式での加点

総合評価落札方式で『EJIB 搭載クレーン』の活用を提案した場合、加点の対象になります。

(注：加点の方法は提案を行った地方整備局等によって異なります。)

◆工事成績評定における加点

公共工事において、施工時に『EJIB 搭載クレーン』の活用を提案すれば工事成績評定で加点対象になります。

また、次回以降の入札において、落札が有利となる評価につながります。

SR-250R

PREMIUM[®]
Roughter



SR-250Ri

PREMIUM[®]
Roughter



SL-800Ri

PREMIUM[®]
Roughter



ホームページアドレス… <http://www.kato-works.co.jp>

製品の仕様や詳しいお問合せにつきましては最寄りの弊社支店・営業所までご用命ください。

写真データのご用命は営業本部営業企画室（担当 相山）までお願いいたします。

メールアドレス t-sugiyama@kato-works.co.jp

電話番号 03-3458-1113

※ EJIB、PREMIUM は(株)加藤製作所の登録商標です。